



NO.227

# 音楽教育

全日音研会報

令和6年2月発行

<http://www.jsme.net/>

## 令和6年度全日本音楽教育研究会全国大会旭川上川大会

(幼稚園部会大会、小・中学校部会大会、高等学校部会大会)

大会主題「音とつながる 心がつながる 学びがつながる」



大会運営委員長  
米津 理臣先生

令和6年10月10日(木)・11日(金)の両日、北海道旭川市において全日本音楽教育研究会全国大会旭川上川大会を開催します。幼稚園、小学校、中学校、高等学校の合同大会となります。授業会場の一つの旭川市大雪クリスタルホールは、旭川駅より徒歩10分に位置し、他の授業会場は、ホールから徒歩5分圏内に隣接します。また、全体会場となる旭川市民文化会館は、旭川駅より徒歩15分に位置します。授業会場等が、駅から比較的近くに位置していることが、旭川上川大会の大きな特徴の一つです。(幼稚園は、各園が会場になります)ここ数年間、音楽活動に対して様々な制限があり、十分な活動を行うことができませんでしたが、音楽活動を楽しみ、学びを深めていく子どもの素敵な姿が溢れる大会となるよう、準備を進めているところです。

### ◆大会主題について

本大会の趣旨の具現化に当たり、私たちは研究主題に「音とつながる 心がつながる 学びがつながる」と掲げて研究を進めています。

「音とつながる」とは、「音や音楽を介してどのように表現したいか思いや意図をもつ」等、自ら音や音楽に関わり、音や音楽の魅力(よさ、美しさ、面白さなど)を感じ取ったり、自分の考えをもって音楽と向き合ったりするなど、豊かに音楽と関わる力が育成されることを願うものです。

「心がつながる」とは、「仲間と共に音楽をつくったり演奏したり音楽の魅力を味わったりする喜びを感じる」等、仲間を大切にしながら学び合い、音楽活動を楽しむ豊かな心が育成されることを願うものです。

「学びがつながる」とは、「過去に学んだことを生かしながら学習するとともに、学んだことを未来の学習に生かそうとする」等、音楽活動を通して、学校内外における様々な音楽活動に広く触れ、学びを生かそうとする豊かな心が育成されることを願うものです。

このように音楽を知覚・感受する力を伸ばし、他者と協働しながら、表したい音楽表現を生み出したり音楽のよさを見いだしたりして、音楽と豊かに関わる力を身に付けていく子どもの姿を求め研究を進めています。

### ◆大会の見どころ

1日目(10/10)の午前は、幼稚園3本、小学校5本、中学校4本、高等学校2本の公開授業と研究協議を行います。午後からは、旭川市民文化会館で全体会を行い、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の志民一成様、河合紳和様より、今後の音楽教育についてのお話や授業についてのご講評をいただく予定です。

2日目(10/11)の午前の全体会では、作曲家の松下 耕氏にご講演をいただきます。また、大会フィナーレとなる記念演奏では、日頃の授業や部活動、少年団活動等の成果をたっぷりご堪能いただくことを予定しています。

ナナカマドの実が赤く色付き、遥に白くそびえる大雪山に映える10月、自然の恵み豊かな北の大地、ここ旭川市に、多くの皆様にご足を運んでいただき、今後の音楽教育について研究を深め、感動を共有いただけるような大会となるよう準備を進めてまいります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

# 令和6年度各地区音研大会一覧（第一次案内）

## ○北海道地区

- ・大会名(開催地) 全日本音楽教育研究会全国大会 旭川上川大会(旭川市)  
第66回北海道音楽教育研究大会 旭川上川大会  
(幼稚園部会・小学校部会・中学校部会・高等学校部会)
- ・開催日: 10/10(木)・11(金)
- ・全体会: 旭川市民文化会館
- ・大会主題: 「音とつながる 心がつながる 学びがつながる」

## ○東北地区

- ・大会名(開催地) 第72回東北音楽教育研究大会 山形大会(山形市)  
第30回山形県音楽教育研究協議会  
(小学校部会・中学校部会・高等学校部会)
- ・開催日: 11/8(金)
- ・全体会: 山形テルサホール
- ・大会主題: 「つながろう音楽と つながろう音楽で」  
～心が動く楽しい音楽の授業づくり～

## ○関東甲信越地区

- ・大会名(開催地) 第66回関東甲信越音楽研究会新潟大会[長岡大会](長岡市)  
第48回新潟県音楽教育研究会研究大会  
(小学校部会・中学校部会)
- ・開催日: 11/15(金)
- ・全体会: 長岡リリックホール
- ・大会主題: 「出会い かかわり ふかめる」  
～他者と協働しながら、思いをもって豊かに表現する姿を目指して～

## ○東海・北陸地区

- ※隔年開催のため今年度はなし  
(次回: 令和7年度東海・北陸音楽教育研究会岐阜大会)

## ○近畿地区:

- ・大会名(開催地) 第66回近畿音楽教育研究大会 和歌山大会(和歌山市)  
第61回和歌山県音楽教育研究大会 和歌山市・海草地区大会  
(幼稚園部会・小学校部会・中学校部会・高等学校部会・特別支援部会)
- ・開催日: 11/8(金)
- ・全体会: 和歌山城ホール
- ・大会主題: 「つながろう 広げよう 深めよう」～心に響く音楽を～

## ○中国・四国地区

- ・大会名(開催地) 第55回中国・四国音楽教育研究会広島大会(広島市)  
第60回広島県小学校音楽教育研究大会  
第55回広島県中学校音楽教育研究大会  
令和6年度広島県高等学校教育研究会音楽部会研究大会  
(幼稚園部会・小学校部会・中学校部会・高等学校部会)
- ・開催日: 11/1(金)
- ・全体会: エリザベト音楽大学 セシリアホール
- ・大会主題: 「つなげる ひろげる 音楽でしあわせ」

## ○九州地区

- ・大会名(開催地) 第65回九州音楽教育研究大会 沖縄大会(浦添市 他)  
(小学校部会・中学校部会・高等学校部会・特別支援部会)
- ・開催日: 10/31(木)・11/1(金)
- ・全体会: アイム・ユニバースてだこホール
- ・大会主題: 「伝え合おう 音楽の喜び つなげよう 未来に向かって」

※(公財)音楽鑑賞振興財団にも各地区大会情報を提供しておりますので音鑑 HP からご覧になれます。

## 令和5年度全日本音楽教育研究会大学部会全国大会・総会



<5つの研究発表>

研究発表の内容は以下の通りです。(敬称略)

- ①島岡譲の教育理念と「和声—理論と実習—」の再解釈 玉川大学：今野哲也
- ②音楽科の創作領域におけるAI活用に関する基礎的調査研究  
—作曲家のICT活用状況の変遷とAI活用に関する基礎的調査研究—  
武蔵野音楽大学：佐藤恩実、鈴木雅之、平田亜矢
- ③ポピュラー音楽への価値観についての歴史研究  
—ポピュラー音楽とホームソング— 東京藝術大学大学院：庄司健人
- ④アメリカ合衆国の音楽大学予備課程における音楽学習の実際  
—ピアノの教育プログラムの視点から— 東京藝術大学：大坪里沙子
- ⑤教育現場におけるピアノ演奏技能 玉川大学：小林史子

いずれも興味深いテーマで、研究に対する熱意が伝わってくる充実した内容でした。詳細につきましては大学部会の会報に掲載する予定です。

午後のシンポジウムは東京藝術大学（佐野靖、山下薫子、市川恵の各先生）の企画進行によるもので、「幼・小・中連携：授業実践を通して系統的な学びを考える」（情報提供：石上則子、茅野萌、半野田恵、今井由喜の各氏）及び「高・大連携：熊本市の事例・構想（上野正直氏 熊本市教育委員会教育改革推進課審議員）の2つの内容でした。いずれも敵時性のある内容で、「連携」や「協働」について多くの学びを得ることができました。

総会では令和4年度の活動報告と決算報告、令和5年度の活動計画案、予算案、ならびに会則の改正が審議され、すべて承認されました。会則に関しては各会員が会費を納入する形に変更するもので、2年をかけて検討が進められてきました。今後、手続を進め、体制を整えてまいりますので、引き続きご協力とご支援をお願いいたします。

なお、令和6年度は武蔵野音楽大学で開催しますが、開催日につきましては各大学の入学選抜の日時等を考慮の上決定します。会員限定となりますが、研究大会での発表を募りますので、希望される方は大学部会事務局までご連絡ください。

今後は小学校から大学までを包括する組織である全日音研のよさや強味を生かし、より多くの方にご参加いただける大学部会及び部会大会を目指してまいります。

### 能登半島地震のお見舞いと義援金

1月1日に発生した令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げますとともに、被災された多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

今回の義援金は、全日音研の本部・小学校・中学校・高等学校の各部会より協力をいただき、合計670,000円を集めることができました。ご協力いただいた義援金は、2市2町の学校数に比例して分配させていただきました。

特に地震や津波などの被害の大きかった輪島市・珠洲市・能登町・穴水町の各教育委員会及び石川県立輪島高等学校に、郵便の配達が発達したとマスコミ報道のあった2月6日にお送りしました。各学校の音楽科や他の教育活動の正常化に役立てていただきます。

## 全日音研全国大会「研究の3視点項目(第2期)」について

令和元年度の全国大会東京大会(総合大会)から今年度の全国大会富山大会までの5年間、①主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善、②生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる力を育む授業づくり、③指導と評価の工夫、の継続研究の3視点項目で大きな成果を上げることができました。

次年度の全国大会旭川上川大会(旭川市)から令和10年度の全国大会岩手大会(盛岡市)までの5年間、下記の研究の3視点項目が継続となります。※アンダーライン⇒変更点

= 第2期(令和6年度～令和10年度)の継続研究の3視点項目 =

- ①主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 《現行を継続》
- ②生活や社会の中の音や音楽の働きについての意識や、音楽文化についての理解を深める学習の充実 《現行に教科目標と理解への文言追加・訂正》
- ③授業改善のための指導と評価の一体化 《現行に、学習評価の意義を追記》

## ◎全日本音楽教育研究会全国大会で継続研究の視点3項目(第2期)の理解を深める学習講習会の企画(オンデマンド配信)

令和6年度全国大会旭川上川大会から5年間、全国大会の研究構想に継続設定していただくとともに第2期の<研究の視点3項目>について、その改訂趣旨の理解を深めていただくことを目的にオンデマンド配信(YouTube)の「学習講演会」を企画しました。

また、令和6年度全国大会旭川上川大会の研究構想(7月段階案)への<研究の視点3項目>の位置付けについてもお知らせしたいと考えております。詳細チラシは新年度に各支部のご協力をいただき、各学校にデータ送信を計画しております。

1. 配信時期：令和6年度夏季休業中(7月下旬～未定)
2. 開催形態：YouTubeでのオンデマンド配信(全60分程度)
3. 講師：文部科学省教科調査官 志民一成氏 河合紳和氏
4. 視聴方法：全日音研会員を対象、メールでの視聴希望をお送りいただいた会員に視聴専用アカウントをお知らせします。参加無料。

## 《令和6年全日本音楽教育研究会「新年祝賀の会」》

日時：令和6年1月23日(火)18:00～

会場：武蔵野音楽大学 キャンパスレストラン「インテルメッツォ」



新型コロナウイルスが5類になり、令和2年から4年ぶりの開催となった全日本音楽教育研究会「新年祝賀の会」に福井直昭会長をはじめ、本部事務局・小学校部会・中学校部会・高等学校部会・大学部会、賛助会員等から総勢52名が参加して盛大に開催することができました。

当日は、開会の前に能登半島地震でお亡くなりになった方々へ黙祷を捧げました。その後、新年

祝賀の会の開催にあたり、福井直昭会長の挨拶の後、ご来賓として公益財団法人音楽鑑賞振興財団理事長 松本智様、全国楽器協会事務局長 尾崎久展様のお二人からお祝いのお言葉をいただきました。埼玉県支部長 藤川英子先生も遠方からご出席されご挨拶をしていただきました。

また、会の中では、今年度の全国大会富山大会会長 宮崎新悟様からの「御礼の言葉」と次年度全国大会旭川上川大会運営委員長 米津理臣様からの「次年度全国大会ご紹介の言葉」をメールで送っていただき菊本事務局長が代読しました。

参加者全員が、飲食を共にしながら交流を深めることができ、とても楽しいひとときを過ごすことができました。会の終わりには、元高等学校部会長 山下 哲様の指揮で「ふるさと」の合唱で締めくくることができました。

最後に、今回の参加費の中から一部を能登半島地震の義援金として充てさせていただきましたことをご報告させていただきます。